

北海道岩見沢農業高等学校

はじめに

北海道岩見沢農業高等学校は、明治40年（1907）の札幌農学校の大学昇格に伴い中等農業教育の後継として、農業者育成を主たる目的として開設された。開校時は農科と獣医科の2科を設置した。現在は、農業科学科をはじめとした7学科の学校である。

I スクール・ミッション（社会的役割等）

- 1 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒を育成する。
- 2 グローバルな視点を持ち、実社会で活躍できる生徒を育成する。

II スクール・ポリシー（3つの方針）

校訓「至誠」を踏まえ、自己の能力に自信を持ち、生きがいを感じ、明るく豊かな生活と社会を築くことのできる人を育てる。

- 1 【育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）】 ↓
[このような力を育てます]
 - 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続可能な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成します。
 - (1) 相手の立場や社会とのつながりなど「理解する力」を育成します。
 - (2) 自ら課題を見付け、主体的に学ぶなど「自ら学ぶ力」を育成します。
 - (3) 自由な発想と創意工夫しながら挑戦するなど「創造する力」を育成します。
- 2 【教育課程に関する方針（カリキュラム・ポリシー）】 ↓
[このような教育活動を行います]
 - 安定的な食料生産の必要性や農業及び農業関連産業のグローバル化へ対応した学習内容を展開します。
 - (1) 各学科の学習目標に応じた知識と技術を習得させるため、実学的な教育を実践します。
 - (2) 社会の変化や生徒及び保護者の期待に応える創造的で特色ある学習内容を実践します。
 - (3) 農業経営者育成学科は寮教育を通して、集団生活の意義と朝晩の農業実習を実践します。
- 3 【入学者の受け入れに関する指針（アドミッション・ポリシー）】 ↓
[このような生徒を待っています]
 - 農業及び農業関連産業に興味をもち、将来の農業の振興や社会貢献できる生徒を希望します。
 - (1) 基本的な生活習慣を身に付けた生徒
 - (2) 規範意識を有する生徒
 - (3) 地域産業に貢献できる生徒